

設置環境や利用状況に合った ベストな「EV 基礎充電」を。



普通充電器（1.2kW - 8kW）

OCP方式
制御盤不要



日東工業
Pit-2G



モリテックスチール
MEVS-05



Wallbox
Pulsar Plus

急速充電器



東光高岳
B10

制御盤方式
1 制御盤で 4 台まで接続可



平河ヒューテック
HCCID-K01HW



Panasonic
DNH326



Panasonic
WK4322S

V2X



椿本チエイン
eLINK

※代表的な充電器一覧。その他充電器も提案連携可能。補助金の適用に関してはお問い合わせください。

	日東工業 Pit-2G	モリテックスチール MEVS-05	Wallbox Pulsar Plus	平河 ヒューテック HCCID-K01HW	Panasonic DNH326	Panasonic WK4322S	東光高岳 B10	椿本チエイン eLINK
出力	3kW/6kW	3kW/6kW	1.2~8kW	3kW/6kW	3kW/6kW	3kW	120kW (1台時最大90kW)	5kW
ケーブル長	5m/7m/10m	5m/10m	5.5m	5m	5m	-	5m	約5.7m
オープン価格	190,000 ~531,000	280,000 ~360,000	136,000	430,000	182,000 ~221,000	3,900 ~11,100	7,480,000 ~7,980,000	お問い合わせ
工事費（1台あたり）	約50~60万円	約50~60万円	約30~40万円	約50~60万円	約50~60万円	約30~40万円	約200万円	約150万円

¥

補助金制度
について

充電器本体
半額補助



※国（経済省）が50%、
さらに東京都が50%で合計100%補助
※消費税は補助されないので負担となります。
※補助金を活用する場合は設置義務期間が5年間あり、
義務期間中に撤去する場合は補助金返金が生じます。

電気工事
全額補助



※国（経済省）が100%補助
※工事に関わる費用の補助上限額は135万円（コンセント95万円）
2基目以降は65万円（コンセント45万円）
※工事内容毎に細かく審査され、全額補助ではなく80%補助など、
補助率が100%ではない場合もあります。

※充電器ラインナップ2024年3月時点情報
※充電器価格は2024年3月時点オープン価格
※1台あたり工事費は設置場所、条件により変動
※補助金制度—2023年情報（2024年未定）
※東京都補助金等、自治体補助金は未確定

充電器詳細、補助金最新情報については
別途お問い合わせください。

1 スマホやPCのWEB画面から運用管理「Yourstand for Business」



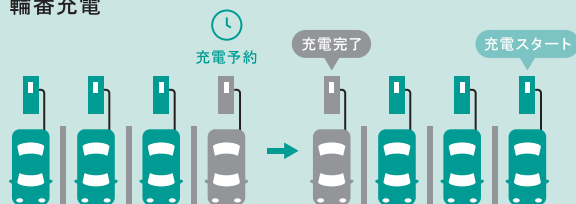
WEBの
管理ポータル画面で
最新の運用状況を
キャッチ



スマホアプリは
インストール不要
WEB画面から
充電開始

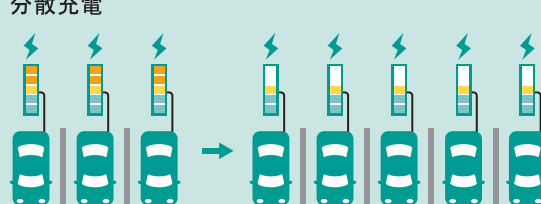
2 充電の効率化でエネルギーマネジメント

輪番充電



最大許容電力値を超えずに運用

分散充電



同時充電台数増加

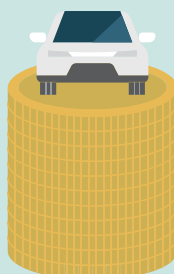
3 コスト削減

従業員への福利厚生を充実させながら、コスト削減が可能。会社にEV充電器がある事で、特に集合住宅に住む従業員にとっては、ランニング費用が安価なEVが選択肢となります。更に、多くの企業が契約している高圧契約や特別高圧契約の電気料金で、充電する事ができれば、自宅充電を行うよりも安価な充電環境を整備できます。また、企業にとっては、将来的に従業員のEV比率が高まる事で、交通費を削減する事ができます。

1ヶ月で800キロ走行した場合

ガソリン車

燃費・必要な燃料：
10km/L・80L
燃料単価：¥180



ガソリン代
¥14,400

ハイブリッド車

燃費・必要な燃料：
20km/L・40L
燃料単価：¥180



ガソリン代
¥7,200

電気自動車

電費・必要な電気容量：
6.5km/kWh・120kWh
電気単価：¥40



電気代
¥4,800

電気自動車

電費・必要な電気容量：
6.5km/kWh・120kWh
電気単価：¥30



電気代
¥3,600

電気代が安い時間帯のみに
スマート充電

ガソリン車と
比べて毎月
9,600円
節約

ガソリン車の
4分の1

